

平成22年度予算の執行状況
(9月30日現在)

平成22年度予算の執行状況は、下表のとおりとなっています。支払準備金の余裕資金は、大口定期預金等で運用しております。
なお、年度内に歳計現金が不足した場合にそれを補うために借り入れる「一時借入金」の現在高は、9月30日現在ありません。

一般会計 歳入			
款	予算現額	収入済額	執行率(%)
市 税	204 億3,487万円	120 億1,544万円	58.8
地 方 譲 与 税	2 億8,800万円	8,776万円	30.5
交 付 金 等	16 億8,753万円	10 億2,739万円	60.9
地 方 交 付 税	1,700万円	0	0.0
分担金及び負担金	7 億3,360万円	1 億6,039万円	21.9
使用料及び手数料	2 億756万円	1 億3,973万円	67.3
国 庫 支 出 金	63 億5,239万円	21 億4,223万円	33.7
県 支 出 金	20 億9,678万円	6 億6,487万円	31.7
財 産 収 入	8,244万円	2,866万円	34.8
寄 附 金	898万円	288万円	32.1
繰 入 金	16 億1,175万円	348万円	0.2
繰 越 金	18 億8,928万円	18 億8,928万円	100.0
諸 収 入	5 億3,603万円	1 億848万円	20.2
市 債	33 億9,070万円	2 億3,900万円	7.0
合 計	393 億3,691万円	185 億959万円	47.1

一般会計 歳出			
款	予算現額	支出済額	執行率(%)
議 会 費	2 億9,063万円	1 億3,831万円	47.6
総 務 費	52 億2,528万円	20 億5,854万円	39.4
民 生 費	123 億2,968万円	52 億9,635万円	43.0
衛 生 費	28 億1,373万円	13 億2,648万円	47.1
労 働 費	2 億3,490万円	2 億2,230万円	94.0
農 林 水 産 業 費	3 億329万円	7,201万円	23.7
商 工 費	4 億3,000万円	1 億6,559万円	38.5
土 木 費	81 億7,745万円	24 億2,304万円	29.6
消 防 費	19 億912万円	7 億5,230万円	39.4
教 育 費	47 億7,957万円	18 億3,077万円	38.3
災 害 復 旧 費	1,000万円	0	0.0
公 債 費	24 億4,572万円	11 億2,399万円	46.0
諸 支 出 金	3 億4,099万円	9,963万円	29.2
予 備 費	4,655万円	0	0.0
合 計	393 億3,691万円	155 億784万円	39.4

特別会計					
会 計 名	予算現額 A	歳 入 収入済額 B	歳 出 収入済額 C	執行率 B/A (%)	執行率 C/A (%)
国民健康保険事業	115 億7,775万円	45 億5,603万円	48 億793万円	39.4	41.5
下 水 道 事 業	33 億552万円	8 億8,708万円	11 億7,016万円	26.8	35.4
老人保健医療事業	1,123万円	943万円	17万円	84.0	1.5
介 護 保 険 事 業	49 億8,225万円	22 億1,091万円	19 億4,255万円	44.4	39.0
後期高齢者医療事業	8 億9,495万円	3 億4,657万円	2 億9,471万円	38.7	32.9
合 計	207 億7,170万円	80 億1,002万円	82 億1,552万円	38.6	39.6

〔市有財産〕 (単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
市 庁 舎	17,022.46	15,972.50
消 防 施 設	14,761.59	6,431.70
学 校	341,795.89	120,445.83
公 営 住 宅	15,680.58	4,008.64
保 育 園	9,232.48	2,424.19
公 民 館	0.00	1,866.25
公 園	361,571.77	21,015.36
その他の施設	171,910.39	60,173.40
小 計	931,975.16	232,337.87
普 田	909.85	
畑	5,108.30	
宅 地	21,624.93	
雑 種 地	8,658.06	
その他の地目	7,117.69	
建 物		459.39
小 計	43,418.83	459.39
合 計	975,393.99	232,797.26

(※)建物以外、公簿地目で分類しています。

〔基 金〕

基 金 名	現 在 高	備 考
財 政 調 整 基 金	23 億2,590万円	現金・債券
奨 学 金 基 金	1 億519万円	現 金
ま ご こ ろ 基 金	5,195万円	〃
環 境 基 金	6,305万円	〃
市営住宅建設基金	5 億3,599万円	〃
新まちづくり基金	45 億3,676万円	現金・債券
市債管理基金	2 億74万円	現 金
国 民 健 康 保 険 財 政 調 整 基 金	7 億6,832万円	〃
介護保険給付費等 準 備 基 金	5 億3,933万円	〃
介護従事者処遇改善 臨 時 特 例 基 金	485万円	〃

※基金は、大口定期預金・地方債等で運用しています。

〔市 債〕

会 計	区 分	現 在 高
一 般 会 計	総 務 債	14 億6,880万円
	民 生 債	1 億6,004万円
	衛 生 債	3 億1,881万円
	土 木 債	96 億8,671万円
	消 防 債	5 億1,010万円
	教 育 債	21 億7,886万円
	住 民 税 等 減 税 補 て ん 債	27 億9,703万円
	臨 時 税 収 補 て ん 債	2 億9,109万円
	臨 時 財 政 対 策 債	34 億9,205万円
	合 計	209 億349万円
特 別 会 計	下 水 道 事 業	
	公 共 下 水 道 債	121 億2,677万円
	流 域 下 水 道 債	24 億9,302万円
	合 計	146 億1,979万円

わがまちの財政事情

平成21年度決算の概要

図 財政課 (☎235・8453)

市民一人当たりの決算額

・歳入 307,307円
・歳出 292,321円

※一般会計の歳入・歳出決算額をそれぞれ人口126,072人(平成22年4月1日現在の住民基本台帳人口)で割った金額です。また、割合は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。

《歳出の内訳》
福祉・社会生活保障に (民生費) 82,508円(28.2%)

道路・公園・計画的なまちづくりに (土木費) 54,417円(18.6%)

行政の運営に (総務費) 48,835円(16.7%)

学校や生涯学習に (教育費) 33,833円(11.6%)

市債の元金や利子の償還に (公債費) 20,367円(7.0%)

保健・ごみ処理などに (衛生費) 21,438円(7.3%)

防災や救急などに (消防費) 18,374円(6.3%)

基金の積み立てなどに (諸支出金) 2,862円(1.0%)

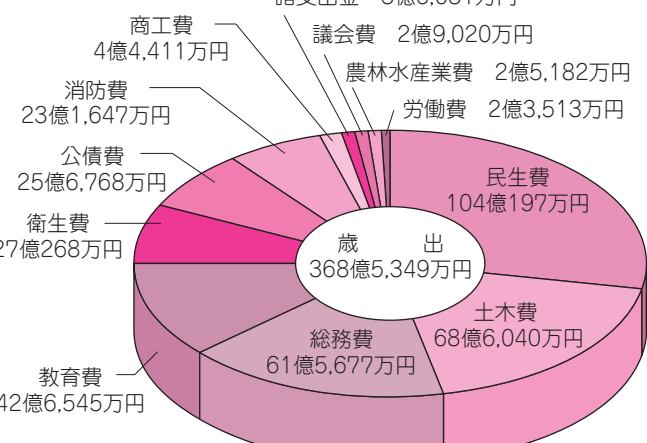
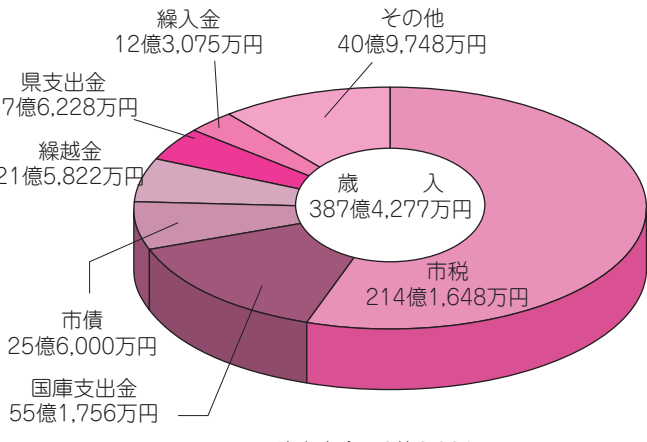
議会の運営などに (議会費) 2,302円(0.8%)

商工業の振興などに (商工費) 3,523円(1.2%)

農業・園芸の振興などに (農林水産業費) 1,997円(0.7%)

雇用対策などに (労働費) 1,865円(0.6%)

一般会計の内訳



歳入が387億4,277万円(60割増)、歳出は368億5,349万円(49割増)となり、4.9万円(71割増)となりました。
歳入では、急激な景気後退の影響により市税が2年連続で減少し、214億1,648万円(45割減)となり、国・県支出金は72億7,988万円(1割増)となりました。
歳入では、急激な景気後退の影響により市税が2年連続で減少し、214億1,648万円(45割減)となり、国・県支出金は72億7,988万円(1割増)となりました。

【健全化判断比率】
健全化判断比率(〃)は市の早期健全化基準
実質赤字比率① ー (12.15%) 赤字はありません
連結実質赤字比率② ー (17.15%) 赤字はありません
実質公債費比率③ 2.2% (25.0%)
将来負担比率④ ー (350.0%) 算定されません
【資金不足比率】
資金不足比率⑤(〃)は市の経営健全化基準
下水道事業特別会計 ー (20.0%) 資金不足はありません

財産などの状況
ー 9月30日現在 ー

財政の健全性問題なし

財政健全化法に基づき指標を算定

平成21年度会計別決算

会 計 名		歳入決算額	対前年度 伸率(%)	歳出決算額	対前年度 伸率(%)
一 般 会 計		387 億4,277万円	6.0	368 億5,349万円	7.1
特 別 会 計	国民健康保険事業	110 億937万円	△0.9	109 億5,894万円	3.3
	下 水 道 事 業	34 億4,177万円	△1.4	32 億7,217万円	△0.2
	老人保健医療事業	6,187万円	△89.7	5,244万円	△90.5
	介護保険事業	45 億1,967万円	7.5	43 億4,396万円	8.0
	後期高齢者医療事業	8 億6,089万円	9.4	8 億4,892万円	10.8
小 計		198 億9,357万円	△1.5	194 億7,643万円	1.3
合 計		586 億3,634万円	3.3	563 億2,992万円	5.0

平成21年度主な実施事業

○えびなの森創造事業費 1,251万円

環境に対する意識を高めるため、市民と企業と行政が協力し、平成23年度までに12万5000本を目指して植樹を行います。なお、平成21年度までに7万4990本を植樹しました。

○文化会館大規模改修事業費 4,378万円

文化会館および中央公民館の全面改修工事にあたり、市民から得られた意見を反映しながら実施設計を行いました。

○保育所施設大規模改修事業費 8,518万円

老朽化した柏ヶ谷保育園の改修工事と保育室などの増築工事を実施し、定員90人が120人に増員されました。

○高齢者生きがいづくり事業費 1,434万円

高齢者いきがい教室の開催、高齢者向けスポーツの普及、ゆめクラブ連合会への支援を行いました。また、60歳を迎えた方々のこれまでの人生を祝い、情報交換や交流の場を提供するため、海老名市選暦式を新たに開催しました。

○感染症予防事業費 380万円

新型インフルエンザ発生に備え、マスクや消毒薬剤などの衛生用品の備蓄を行いました。

○農業活性化事業費 90万円

遊休農地の有効活用の一環として、5反の農地に菜の花を栽培し、菜種油用の菜種の収穫を目指しました。

○中小企業助成事業費 1億5,284万円

市中小企業事業資金、県経営安定資金特別融資を受けた中小企業に対し、利子の一部を補助しました。また、県信用保証協会へ支払った信用保証料の補助を行いました。

○河原口勝瀬線整備事業費 3億781万円

海老名インターチェンジ開通後の自動車交通へ対応するとともに、交通渋滞の解消を図るため、平成18年から工事に着手し、平成22年3月に4車線化の整備を完了しました。

○海老名駅自由通路整備(小田急相鉄駅舎部)事業費 16億1,146万円

海老名駅自由通路のエレベーターやエスカレーターを整備し、バリアフリー化の推進や乗り継ぎの安全性・利便性の向上を図りました。

○消防署北分署整備事業費 4億8,111万円

北部地区の災害拠点となる消防署北分署を移転し、平成22年2月から業務を開始しました。はしご車(15m)を配置し、中高層災害に対する消防力強化を図りました。

○えびなっ子サマースクール事業費 544万円

夏休み期間、学校の一部施設を開放し、学習や遊びの場を提供するとともに指導員などを配置して指導を行いました。また管弦楽鑑賞や楽器演奏体験などの、芸術体験活動を実施しました。

○歴史資料収蔵館整備事業費 6,405万円

歴史資料を集中管理し、良好な状態で後世に保存し、資料を閲覧することもできる施設として、歴史資料収蔵館が平成22年4月に開館しました。